

T・G・A・L～校長室だより～

令和2年10月30日（金）発行 第17号

○ 倉敷市中学生英語スピーチコンテスト スキットで参加 緊張に負けず堂々と

10月17日（土）にくらしき健康福祉プラザで第4回倉敷市長杯G7倉敷こどもサミット宣言記念中学生英語スピーチコンテストが開かれました。倉敷市内の28中学校の代表が集まり、English Speech Contestが開かれました。

本校からは、3年生のIwamoto君とYoshikawa君が参加しました。2人は大会の1か月以上前から放課後Mark先生中心にInoue先生やTanina先生にLessonしていただきました。そして、本番前日には職員室で予行演習を行い、当日を迎えました。

発表順は23番目。演題は「Everyone smiles in the same language（笑顔は言葉の壁を越える）」。Mizushima Junior High Schoolと名前が呼ばれると、2人は同時に「Yes」と答えて壇上に向かいました。2人は緊張感の中、堂々と発表しました。Inoue先生によると、本番が一番いい発表だった、とのこと。皆さんに紹介しておきます。



○ 生徒会執行部始動！後期専門委員会も。

生徒会執行部がスタートしました。校門横の行事予定表も新執行部の皆さんで描きました。10/21(水)に後期初のあいさつ運動がありました。

生徒会長の杉山君があいさつ運動の後には参加者へのお礼のあいさつを行い、締めくくりました。「任命式よりあいさつよかったぞ。」など、生徒会長に周りから声がかかっていました。この日はPTA役員の方も多く参加して、あいさつ運動を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

各専門委員会も動き始めました。よく活動している委員会もありますが、惜しいのはそれぞれの委員会の活動が、学校全体にあまり知られていないこと。それぞれがいい活動をしているので、“活動の見える化”を意識して取り組んではいかがでしょう。

